

平成26年度漁況月報 No. 9

平成27年1月6日発行

岩手県水産技術センター漁業資源部 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/>

Tel:0193-26-7915 / Fax:0193-26-7920 / E-mail: CE0012@pref.iwate.jp

《12月のトピックス》

- ・ 定置網は秋サケ・スルメイカの水揚げが好調でした。
- ・ さんま棒受け網の水揚げは平成23年度以降最も多くなりました。

1. 水揚げ状況（県内主要5港集計値）

12月の県内主要5港（久慈、宮古、山田、釜石、大船渡）における水揚げ状況を取りまとめましたのでお知らせします。

(1) 定置網の総水揚げ量は、平成25年度同期比1.3倍、平成24年度同期比1.6倍、平成18～22年度同期平均比68%の4,954トンでした。12月までの累計は、27,450トン（前年度比93%、平成24年度比1.3倍、平成18～22年度比71%）でした。

・ 秋サケは、全域で順調に水揚げがあり、12月の水揚げ量は、平成25年度同期比1.2倍、平成24年度同期比2.1倍、平成18～22年度同期平均比61%の3,044トンでした。12月までの累計は、9,731トン（前年度比1.1倍、平成18～22年度平均比70%）でした（図1）。

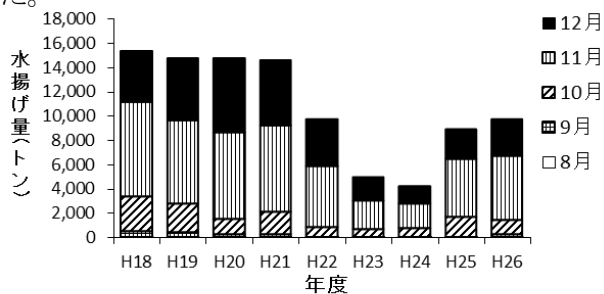


図1 秋サケの12月までの月別水揚げ量(定置網)

・ ブリは、大船渡を中心に水揚げがあり、12月の水揚げ量は、平成25年度並、平成24年度同期比64%、平成18～22年度同期平均比46%の107トンでした。12月までの累計は、5,194トン（前年度比99%、平成18～22年度比2.4倍）でした（図2）。

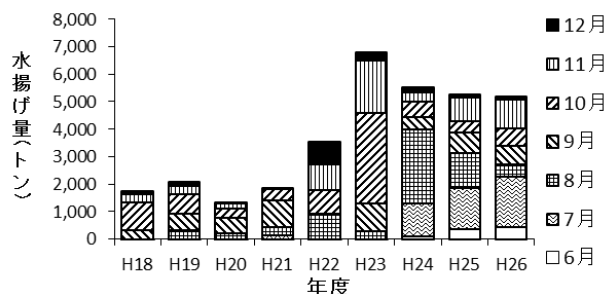


図2 ブリの12月までの月別水揚げ量(定置網)

・ スルメイカは、宮古と釜石を中心に全域で水揚げがあり、12月の水揚げ量は、平成25年度同期比1.6倍、平成24年度同期比1.1倍、平成18～22年度同期平均比91%の1,486トンとなっています。12月までの累計は、2,768トン（前年度比1.5倍、平成18～22年度比68%）でした（図3）。

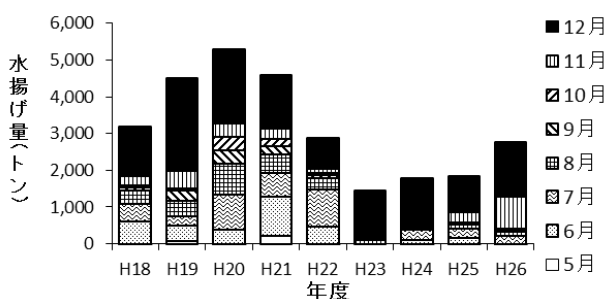


図3 スルメイカの12月までの月別水揚げ量(定置網)

(2) マダラ(底刺網・延縄)は、宮古を中心に水揚げがあり、12月の水揚げ量は、平成25年度同期比87%、平成24年度同期比83%、平成18～22年度同期平均比2.2倍の325トンでした。12月までの累計は1,680トン（前年度比1.1倍、平成18～22年度比2.2倍）でした（図4）。

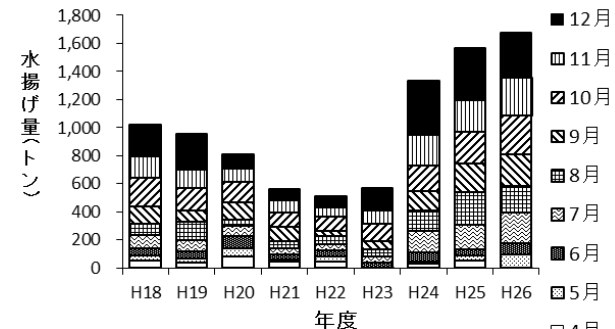


図4 マダラの12月までの月別水揚げ量(定置網)

(3) スルメイカ(いか釣り)は、宮古を中心に水揚げがありましたが、12月の水揚げ量は、平成25年度同期比42%、平成24年度同期比28%、平成18～22年度同期比37%の164トンにとどまっています。12月までの累計は3,818トン（前年度比88%、平成18～22年度比76%）でした（図5）。

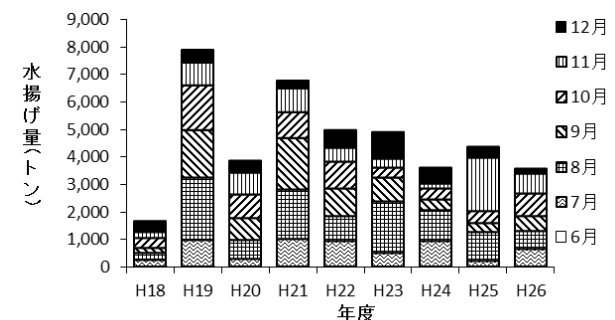


図5 スルメイカの12月までの月別水揚げ量(いか釣り)

(4) サンマ(棒受け網)は大船渡を中心に水揚げがあり、12月中旬に終漁となりました。12月の水揚げ量は、平成25年度同期比12倍、平成24年度同期比1.5倍、平成18～22年度同期平均比37%の1,567トンでした。12月までの累計は、41,976トン（前年度比2.0倍、平成18～22年度比85%）でした（図6）。

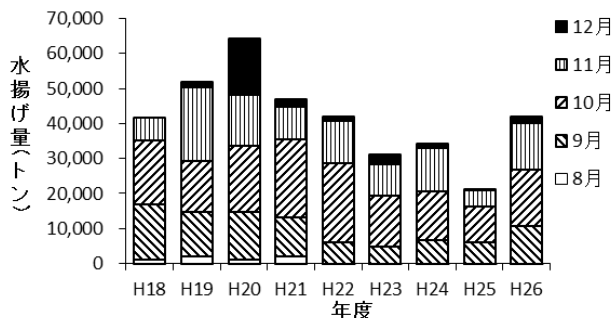


図6 サンマの12月までの月別水揚げ量(棒受け網)

(5) スルメイカ(底びき網)は宮古を中心に水揚げがあり、12月の水揚げ量は、平成25年度同期比84%、平成24年度同期比52%、平成18～22年度同期平均比1.1倍の1,812トンでした。12月までの累計は、4,814トン（前年度比1.2倍、平成18～22年度比78%）でした（図7）。

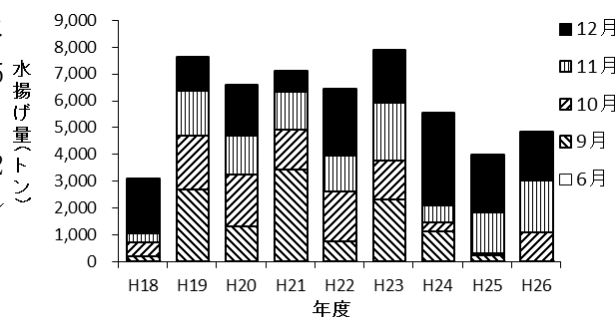


図7 スルメイカの12月までの月別水揚げ量(底びき網)

ご意見などは水産技術センター漁業資源部（担当；後藤、高梨）までお寄せください。

